

平成28年度 首都大学東京大学院都市環境科学研究科  
都市システム科学域 選抜試験（冬季）  
博士前期課程（一般・社会人）

科目 <小論文>

時間 12：30～14：30

- 注意事項：
- ①問題の選択にあたっては、最初のページの冒頭の説明をよく読んで解答しなさい。
  - ②その他、監督者の指示に従うこと。

受験番号	一般・社会人	氏名
------	--------	----

以下の設問（１）～（３）の中から、いずれか１問を選択し解答しなさい。選択した設問番号は解答用紙に記入すること。

（１）右の表は、平成 20 年（2008 年）以降の地価公示について対前年増減比（％表示、▲はマイナス）を示したものである（国土交通省・土地総合情報ライブラリ・地価公示をもとに作成）。

例えば、「▲0.1」は前年公示地価を 100 とすると当該年が 99.9 に相当することを示している。

東京圏に着目し、他の都市圏や全国との対比に注意しながら、以下の問いに答えなさい。

地価公示年※	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
西暦表示	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
全国	1.3	▲ 3.2	▲ 4.2	▲ 2.7	▲ 2.3	▲ 1.6	▲ 0.6	▲ 0.4
三大都市圏	4.3	▲ 3.5	▲ 4.5	▲ 1.8	▲ 1.3	▲ 0.6	0.5	0.4
東京圏	5.5	▲ 4.4	▲ 4.9	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 0.7	0.7	0.5
大阪圏	2.7	▲ 2.0	▲ 4.8	▲ 2.4	▲ 1.3	▲ 0.9	▲ 0.1	0.0
名古屋圏	2.8	▲ 2.8	▲ 2.5	▲ 0.6	▲ 0.4	0.0	1.1	0.8

※当該年の1月1日時点

- 平成 20 年以降の東京圏の地価の推移について、表から特徴を読み取り、考えられる理由とともに論述しなさい。
- 平成 27 年以降の 5 年間の東京圏の地価はどのように推移すると予測するか、その理由とともに論述しなさい。予測にあたっては、表からの読み取りに加え、想定される社会的な動向を考慮すること。

（２）日本の都市計画の仕組み、もしくはまちづくりの仕組みを、海外に「輸出」という議論がある。あなたが、海外に都市計画やまちづくりを輸出するときに、具体的に都市計画やまちづくりのどの部分を輸出するのか、それを輸出し、輸出先の国に導入する時にどういう課題が発生しうるのか、1000文字以内で論じなさい。輸出する仕組みおよび輸出先の国を具体的に絞って論じること。

（３）わが国において、保育所への「待機児童」問題が社会的注目を集める中、それを解決する手段となる保育所施設の建設・整備を巡って、その建設を要望する住民による請願運動が生じている一方で、施設予定地周辺からは建設に反対する住民からの反対運動も生じている自治体がある。

- そのような紛争（対立）が発生する原因（メカニズム）はどのように説明されるか、考察して論じなさい。
- このような紛争（対立）に対しては、どのような解決策が求められるのか。あなたの考えを具体的に説明しなさい。